

令和5年度 第2回草津市環境審議会 会議録

■日時:

令和6年2月7日(水)15時30分 ～ 16時00分

■場所:

草津市役所4階 行政委員会室

■出席委員:

小林 圭介 委員(会長)、壽崎 かすみ 委員、樋口 能士 委員、山川 正信 委員、
横田 岳人 委員、井上 忠之 委員、中西 真帆 委員、岩本 重治 委員、
奥村 真知子 委員、金澤 成子 委員、境野 和子 委員、中村 暁美 委員、森 毅 委員、

■欠席委員:

山田 淳 委員(副会長)、北脇 芳和 委員、横江 秀美 委員、鶴田 真理子 委員、
原田 聖明 委員、松村 幸子 委員、丸林 浩二 委員

■事務局:

草津市長

環境経済部

環境政策課

温暖化対策室

田中部長、太田副部長

藤野課長、松尾課長補佐、長江係長、谷主事

永原室長、津田係長

■傍聴者:

2名

■議題等:

(1) 審議事項

- ・次期草津市地球温暖化対策実行計画の策定について
- ・草津市地球温暖化対策実行計画専門部会の設置および付議事項について

(2) 報告事項

脱炭素先行地域への応募の結果について

1. 開会、市長挨拶

【市長】

草津市では、令和3年12月に、「草津市気候非常事態宣言」を行い、ゼロカーボンシティを表明しました。来年度は、地域の特性に応じた本市の地球温暖化対策を定めた、「草津市地球温暖化対策実行計画 区域施策編」、すなわち第4次となる「草津市地球冷やしたいプロジェクト」満了を迎えます。ゼロカーボンシティとして、国をあげての目標である2050年カーボンニュートラル実現に向けて、また、既に顕著になっている気候変動の影響に適応していくために、次期計画で本市の地球温暖化対策のフレームをどう描くかが、大変重要であると認識しているところでございます。委員の皆様方には、本日以降、第5次草津市地球冷やしたいプロジェクトの策定に向けて、審議いただきたいと考えております。何卒、ゼロカーボンシティ実現に向けた慎重かつ活発な御審議をお願いいたしまして、開会の挨拶とさせていただきます。

2. 諮問

【市長】

草津市地球温暖化対策実行計画

—第5次草津市地球冷やしたいプロジェクト—の策定について

3. 議事概要

資料1:草津市地球温暖化対策実行計画

—第5次草津市地球冷やしたいプロジェクト—の策定について

資料2:草津市地球温暖化対策実行計画

—第5次草津市地球冷やしたいプロジェクト—策定スケジュール

資料3:草津市地球温暖化対策実行計画専門部会の設置および付議事項について

資料4:脱炭素先行地域への応募の結果について

参考資料1:草津市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)

参考資料2:草津市地球温暖化対策実行計画(事務事業編)

参考資料3:滋賀県CO₂ネットゼロ社会づくり推進計画

参考資料4:草津市地球温暖化対策実行計画(第5次草津市地球冷やしたいプロジェクト)

専門部会設置要領

参考資料5:脱炭素先行地域選定結果通知(草津市)

参考資料6:脱炭素先行地域応募内容概要(草津市)

(1) 審議事項

・次期草津市地球温暖化対策実行計画の策定について

【事務局】

＜資料1～2について説明＞

【会長】

実行計画の内容そのものの説明ではなく、実行計画をいかに策定していくか、あるいは改定していくかという説明であったと考える。専門部会を設置してその中で骨子を議論し、詳細についてはこの審議会の場で詳細を練っていくということで進めさせていただきたい。また、参考資料に、第4次草津市地球冷やしたいプロジェクトというサブタイトルの実行計画があるので、改めて見ておいていただきたい。質問、意見はないか。

—質問、意見なし—

・草津市地球温暖化対策実行計画専門部会の設置および付議事項について

【事務局】

＜資料3について説明＞

【会長】

実行計画を策定していくにあたって、専門部会でたたき台を作成し、それに基づいて審議会で詳細な議論を進めて次期実行計画を策定していきたい。専門部会の委員は会長が指名するということで、ここで指名をさせていただく。

学識経験者 小林委員、樋口委員、横田委員

行政を代表するもの 中西委員

産業を代表するもの 金澤委員

市民を代表するもの 鶴田委員、森委員

以上の7名とする。

また、草津市地球冷やしたい推進協議会からも2名、この専門部会に加わっていただく。私が指名した専門部会の委員について委員の皆様に意見をお伺いしたい。

—意見なし—

では、9名について、お認めいただいたということで、専門部会委員に選任された皆様よろしくお願いたします。

【事務局】

審議事項2つ目について御承認いただいたということで、専門部会の開催案内等の事務局については温暖化対策室が行う。

(2) 報告事項

・脱炭素先行地域への応募の結果について

【事務局】

<資料4について説明>

【会長】

ただいまの脱炭素先行地域への応募の結果を報告いただいたが、この審議会で議題になったときに、もう少し皆様の意見を聞く場を設けて、申請について議論をすればよかったという反省を持っている。事務局の方では、次回は応募しないということであるが、この実行計画の骨子等を論じるときに、採択されるような脱炭素先行地域への応募案があれば、計画策定の審議途中でも応募していくということもよいかと考える。

【委員】

審議会場で応募されるということは聞いており、書類を実際見ていないので、どういうポイントで環境省に対して訴求すべきだったのか、分からないところはあるが、ポイントを押さえて申請していけば、また結果は違ったのかもしれない。そのあたりの情報収集が十分でなかったのではという印象を持っている。県内で先行地域に採択されているのが、米原市と湖南市の2つだけで、採択されているところは、かなり内容の絞り込みをされているため、色々な観点をもち過ぎた可能性はある、という印象を持っている。そのため、そのあたりについて対応できるようになれば、比較的早期に脱炭素先行地域の申請は可能かもしれないと考える。

【会長】

計画策定の途中で、また審議会を開いた時に何か考えがあれば、是非お出しいただき、並行して進めていただきたいところである。皆様方には、通常の審議であると、お一人ずつ発言をしていただいているが、本日の議事は議論の内容ではないので、このように進めることになった。次回、実行計画の骨子案が示される際には、全員に発言をお願いします。

4. その他

【事務局】

次回の審議会について、開催する場合は1か月前までに御案内させていただく。

5. 閉会

【委員】

次の地球温暖化対策の実行計画ということで、専門部会も立ち上がり、検討していただけたらと思っている。私の個人的な考えでは、カーボンニュートラル＝ゼロカーボンなのかというところで、私自身、ゼロ

はあまり好きではなく、よくゼロリスクなど言われますが、これは、国がそういう言葉をキャッチフレーズで使っているだけで、カーボンリダクションでは駄目なのかなという気はしている。

そのため、草津市の独自の方向として、本当にゼロをめざせるのか、そこまでの覚悟と取組に意欲があるのかというのは確認したいところである。要は、本当に最終的にゼロになり得るのかというのは、私自身は非常に疑問に思っているので、この審議会、専門部会でも、その辺を踏まえて、また、できるところはどのように取り組めば良いのかという視点で議論できればと思っている。

【事務局】

これもちまして、令和5年度第2回草津市環境審議会を閉会させていただく。